



Lenovo XClarity Integrator アドイン for Microsoft System Center Virtual Machine Manager

バージョン 2.0



Lenovo XClarity Integrator アドイン for Microsoft System Center Virtual Machine Manager

バージョン 2.0

注

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、39 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

版についての注意事項

本書は、Lenovo XClarity Integrator Add-in for Microsoft System Center, v2.0 バージョン 2.0、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

このユーザーズ・ガイドは、Lenovo XClarity Integrator Add-in for Microsoft System Center, v2.0 の最新情報を提供します。Lenovo XClarity Integrator Add-in for Microsoft System Center, v2.0 は、Lenovo の x サーバーおよび Flex サーバーを管理し、ハードウェア・インフラストラクチャーと仮想インフラストラクチャーを接続する付加価値機能を提供することを目的とした、Microsoft System Center Virtual Machine Manager のプラグイン・アプリケーションです。

© Copyright Lenovo 2014, 2015.

Portions © Copyright IBM Corporation 2014.

目次

図	v
本書について	vii
規則および用語	vii
情報リソース	ix
PDF ファイル	xi
World Wide Web リソース	xiii
第 1 章 Lenovo XClarity Integrator Add-in for Microsoft System Center, v2.0 のバージョン情報	1
第 2 章 システム要件	3
第 3 章 Lenovo XClarity Integrator アド インのインストール	7
Lenovo XClarity Integrator アドインのアップグレード	7
Lenovo XClarity Integrator アドイン のアンインスト ール	7
第 4 章 Lenovo XClarity Integrator アド イン の使用	9
Lenovo XClarity Integrator アドインのインポート	9
Lenovo XClarity Integrator アドイン の始動	10
ホスト認証の設定	11
ローリング・システム設定の指定	13
統合管理モジュール (IMM) の追加	14
IMM 検出	14

IMM 認証	15
Lenovo XClarity Administrator の追加	15

第 5 章 機能の使用 17

情報の収集	17
ホスト情報の表示	17
Lenovo XClarity Administrator に関する一般情報 の表示	17
シャーシ・マップの表示	18
監視	22
PFA 管理	23
更新	24
ローリング・システム・リブート	24
ローリング・システム更新	26
構成	28
構成パターン	28

第 6 章 トラブルシューティング 35

SCVMM ホスト・リストに表示されているホスト が、Lenovo XClarity Integrator アドイン に表示され ない	35
インストーラーが失敗しエラー・メッセージが表示 される	36

ライセンス交付 37

特記事項 39

商標	40
重要事項	40

索引 41



1. 「Programs and Features (プログラムと機能)」ウインドウ	8
2. 「Import Console Add-in (コンソール アドインのインポート)」ボタン	9
3. 「Import Console Add-in Wizard (コンソールアドインのインポート ウィザード)」ウインドウ	10
4. Lenovo XClarity Integrator アドインの起動	11
5. ホスト認証の設定	13
6. Lenovo XClarity Administrator に関する一般情報	18
7. シャーシ・マップ	19
8. 「Configuration Pattern (構成パターン)」ページ	29
9. 構成パターンのデプロイメントの要約ダイアログ	30
10. デプロイメント要求の確認ウインドウ	30
11. デプロイメント要求の送信完了の確認ウインドウ	31
12. サーバー・パターンの詳細	31
13. 構成パターンの非アクティブ化	32
14. 「Deactivate Server Pattern (サーバー・パターンの非アクティブ化)」ダイアログ	32
15. 非アクティブ化のステータス・ダイアログ	33
16. 「Pattern Deactivation Summary (パターンの非アクティブ化の要約)」ダイアログ	33

本書について

本書では、Lenovo XClarity Integrator Add-in for Microsoft System Center, v2.0 をインストールして使用方法について説明します。

規則および用語

太字の「注」、「重要」、または「注意」で始まっているパラグラフは、重要な情報を強調する特定の意味を持つ注意書きです。

注: この注記は、重要なヒント、ガイド、またはアドバイスを提供します。

重要: これらの 特記事項は、不都合なまたは困難な状態を避けるために役立つ情報またはアドバイスを提供します。

重要: また、これらの特記事項は、プログラム、デバイス、またはデータへの考えられる 損傷を示します。損傷が起こりうる指示または状態の前には警告通知が表示されます。

下の表に、本書で使用されている一部の用語、頭字語、および省略語についての説明があります。

表 1. 本書で使用する用語の定義

用語、頭字語、または略語	定義
Lenovo XClarity Administrator	Flex System とスタンドアロン・ラックの両方の x86 ノードを管理する単一のエレメント・マネージャーと、PureFlex のシャーシ・リソース・マネージャーを提供します。
Lenovo XClarity Integrator	IT 管理者が System x と Microsoft System Center の管理機能を統合して使用できるツール・スイート。Lenovo は、Lenovo のハードウェア管理機能を統合し、定型的なシステム管理に要する時間と労力を削減するための、物理環境および仮想環境の基本的な管理機能を手頃な価格で提供することによって、Microsoft System Center のサーバー管理機能を拡張します。これにより、サーバーの統合および管理の簡素化を通じてコストの削減と複雑さの解消を実現するために必要な、ディスクバリー、構成、モニタリング、イベント管理、および電源管理機能が提供されます。
管理ノード	SCVMM サービス、Lenovo Unified Service および Lenovo XClarity Integrator Add-in for Microsoft System Center, v2.0 がインストールされ、実行されている物理または仮想マシン

表 1. 本書で使用される用語の定義 (続き)

用語、頭字語、または略語	定義
管理対象ノード	SCVMM Agent がインストールおよび実行され、SCVMM で管理されている物理マシン
PFA	障害予知アラート
SCVMM	Microsoft System Center Virtual Machine Manager
UXSP	UpdateXpress System Pack
UXSPI	Lenovo UpdateXpress System Pack Installer

情報リソース

Lenovo XClarity Integrator Add-in for Microsoft System Center, v2.0 の追加情報は、[WWW](#) 上で入手することができます。

Lenovo XClarity Integrator Add-in for Microsoft System Center, v2.0 に関する追加情報は、製品文書や [WWW](#) で検索できます。

PDF ファイル

PDF 形式で提供されている資料を表示および印刷します。

Adobe Acrobat Reader のダウンロード

PDF ファイルを表示または印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。コピーを Adobe Reader Web サイトからダウンロードできます。

PDF ファイルの表示と印刷

Web 上にある PDF ファイルは、すべて表示または印刷が可能です。それぞれの資料の最新バージョンが、製品ダウンロード・ページに用意されています。資料ごとの製品ページを見つけるには、このリンク (Lenovo System x Integration Offerings for Microsoft Systems Management Solutions ポータル) をクリックしてください。

- Lenovo PureFlex および System x Lenovo XClarity Integrator Add-in for Microsoft System Center, v2.0

PDF ファイルの保存

PDF ファイルを保存するには、以下の手順を実行します。

1. ブラウザーで PDF へのリンクを右クリックします。
2. 次のどちらかのタスクを実行します。

Web ブラウザー	Command (コマンド)
Internet Explorer の場合	「対象をファイルに保存」をクリックします。
Mozilla の場合	「名前を付けてリンク先を保存」をクリックします。

3. PDF ファイルを保存するディレクトリーにナビゲートします。
4. 「Save (保存)」をクリックします。

World Wide Web リソース

以下の Web ページには、Lenovo PureFlex™、System x、BladeCenter® ブレード・サーバー、およびシステム管理ツールの理解、使用、およびトラブルシューティングに役立つリソースが用意されています。

Microsoft Systems Management Solutions for Lenovo Servers の Lenovo Web サイト

Lenovo Web サイト「Lenovo System x Integration Offerings for Microsoft Systems Management Solutions」(<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=LNVO-MANAGE>)

Lenovo XClarity Integrator Add-in for Microsoft System Center, v2.0 用の最新のダウンロードを見つけます。

Lenovo Systems テクニカル・サポート・サイト

Lenovo ハードウェアおよびシステム管理ソフトウェアのサポートを見つけます。
<http://support.lenovo.com/>

Lenovo ServerProven® ページ

- System x Flex System Manager ページ: <http://www-03.ibm.com/servers/eserver/serverproven/compat/us/indexsp.html>
- BladeCenter ServerProven ページ: <http://www-03.ibm.com/servers/eserver/serverproven/compat/us/eserver.html>

Lenovo System x、Lenovo BladeCenter、および IBM IntelliStation® ハードウェアとのハードウェア互換性に関する情報を入手します。

Lenovo PureFlex システムおよび Flex System Manager

Lenovo PureFlex システムおよび Flex System Manager <http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/flexsys/information/index.jsp>

第 1 章 Lenovo XClarity Integrator Add-in for Microsoft System Center, v2.0 のバージョン情報

Lenovo XClarity Integrator アドイン for Microsoft System Center Virtual Machine Manager は、Microsoft System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) のプラグイン・アプリケーションで、Lenovo XClarity Integrator の拡張機能として提供されています。このアドインは、Lenovo の System x サーバーおよび Flex サーバーの管理を容易にし、ハードウェア・インフラストラクチャーと仮想インフラストラクチャーを接続するための付加価値機能を提供します。

Lenovo XClarity Integrator のバージョン情報

Lenovo XClarity Integrator は、Microsoft System Center および VMware vCenter の拡張機能です。これらの拡張機能は、Lenovo の System x サーバー、BladeCenter サーバー、および Flex システム用の拡張管理機能を IT 管理者に提供します。Lenovo XClarity Integrator 拡張機能には、Microsoft System Center および VMware vCenter のスタンドアロン・アプリケーションおよびサービス・アプリケーションのためのプラグインのセットが組み込まれています。

Lenovo は、Lenovo XClarity Integrator を使用することで、Lenovo のハードウェア管理機能を統合し、定型的なシステム管理に要する時間と労力を削減するための、物理環境および仮想環境の基本的な管理機能を手頃な価格で提供することによって、Microsoft System Center および VMware vCenter の管理機能を拡張します。これにより、サーバーの統合および管理の簡素化を通じてコストの削減と複雑さの解消を実現するために必要な、検出、構成、監視、イベント管理、および電源監視機能が提供されます。

Lenovo XClarity Integrator Add-in for Microsoft System Center, v2.0

Lenovo XClarity Integrator アドインでは、保守容易性を妨げずにファームウェア更新を有効にするローリング・システム更新などの機能により、Lenovo サーバーの管理が容易になります。SCVMM 管理パネルに統合されたユーザー・インターフェースから、サーバー、ストレージ・デバイス、ネットワーク・スイッチなどの Lenovo のハードウェア資産を管理できます。Lenovo XClarity Integrator Add-in for Microsoft System Center, v2.0 には、バックエンドとして Lenovo XClarity Integrator Unified Service が必要です。

第 2 章 システム要件

必要なハードウェアおよびソフトウェアに関する情報を示します。

ハードウェア

表 2. 最小および推奨ハードウェア要件

最小	推奨
単一の x86-64 プロセッサ/コア	4 つの x86-64 プロセッサ/コア
2 GB の RAM	8 GB の RAM
20 GB のハードディスク・ドライブの空きスペース	40 GB のハードディスク・ドライブの空きスペース
100 Mbps のネットワーク・カード	10,000 Mbps のネットワーク・カード

ソフトウェア要件

管理ノード

- Windows Server 2012 SP1 (x64)、2012 R2 (x64)
- .NET Framework 4
- Microsoft System Center Virtual Machine Manager 2012 SP1、2012 R2

管理対象ノード

- Windows Server 2008R2 (x64)、2012 SP1 (x64)、2012 R2 (x64)
- Windows Server 2008R2 上の .NET Framework 3.5 および 4.0
- Microsoft System Center Virtual Machine Manager 2012 SP1、2012 R2 エージェント
- Hyper-V 役割

サポートされるハードウェア

Lenovo XClarity Integrator Add-in for Microsoft System Center, v2.0 にはハードウェア制限がありませんが、管理対象のハードウェアは、以下の表にある IBM および Lenovo System x およびブレード・サーバーに限定されます。

表 3. サポートされる IBM ハードウェア

システム	サーバー番号
System x サーバー	• dx360 M2 (7321、7323) • dx360 M3 (6391) • dx360 M4 (7912、7913、7918、7919) • nx360 M4 (5455) • Smart Analytics System (7949) • x3100 M4 (2582) • x3200 M2 (4367、4368) • x3200 M3 (7327、7328) • x3250 M2 (7657、4190、4191、4194) • x3250 M3 (4251、4252、4261) • x3250 M4 (2583) • x3250 M5 (5458) • x3300 M4 (7382) • x3400 M2 (7836、7837) • x3400 M3 (7378、7379) • x3500 M2 (7839) • x3500 M3 (7380) • x3500 M4 (7383) • x3530 M4 (7160) • x3550 M2 (7946、4198) • x3550 M3 (7944、4254) • x3550 M4 (7914) • x3620 M3 (7376) • x3630 M3 (7377) • x3630 M4 (7158、7518、7519) • x3650 M2 (7947、4199) • x3650 M3 (7944、7945、4254、4255、5454) • x3650 M4 (7915) • x3650 M4 HD (5460) • x3650 M4 BD (5466) • x3750 M4 (8722、8733) • x3755 M4 (7164) • x3690 X5 (7148、7149、7147、7192) • x3850 X5/X3950 • X5 (7145、7146、7143、7191) • x3850 X6 (3837)

表 3. サポートされる IBM ハードウェア (続き)

システム	サーバー番号
Flex 計算ノード	- Flex System x220 Compute Node (7906、2585) - Flex System x222 Compute Node (7916) - Flex System x240 Compute Node (8737、8738、7863) - Flex System x440 Compute Node (7917)
ブレード・システム	- HS22 (7870、7809、1911、1936) - HS22V (7871、1949) - HS23 (7875、1882、1929) - HS23E (8038、8039) - HX5 (7872、7873、1909、1910)

表 4. サポートされる Lenovo ハードウェア

サポートされる Lenovo ハードウェア	サーバー番号
System x サーバー	- NeXtScale nx360 M5 (5465) - NeXtScale nx360 M5 DWC (5467、5468、5469) - x3500 M5 (5464) x3550 M4 (7914) - x3550 M5 (5463) - x3630 M4 (7158) - x3650 M4 (7915) - x3650 M5 (5462) - x3750 M4 (8753) - x3850 X6/x3950 X6 (6241)
Flex 計算ノード	- Flex System x240 Compute Node (7162、2588) - Flex System x240 M5 Compute Node (2591、9532) - Flex System x440 Compute Node (7167、2590) - Flex System x280、x480、x880 X6 Compute Node (7196、4258)

第 3 章 Lenovo XClarity Integrator アドインのインストール

ここでは、Lenovo XClarity Integrator アドインのインストールについて説明します。

始める前に

Lenovo XClarity Integrator ダウンロード・ページ (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=LNVO-MANAGE>) から Lenovo XClarity Integrator アドインのインストーラーをダウンロードします。

手順

1. Lenovo XClarity Integrator アドインのインストーラー・ファイルをダブルクリックします。 初期画面が表示されます。
2. InstallShield ウィザードの指示に従ってパッケージをインストールします。
3. インストールが完了したら、9 ページの『Lenovo XClarity Integrator アドインのインポート』の手順に従ってください。

Lenovo XClarity Integrator アドインのアップグレード

旧バージョンが検出されると、InstallShield ウィザードで自動的にアップグレード・プロセスが開始されます。

手順

1. InstallShield ウィザードの指示に従って既存のバージョンをアップグレードします。
2. アップグレード・プロセスでは Lenovo XClarity Integrator Unified Service も更新されます。更新の詳細については、「Lenovo UIM Unified Service User's Guide」を参照してください。
3. InstallShield ウィザードが完了したら、Lenovo XClarity Integrator アドインの SCVMM アドイン zip ファイルを SCVMM にインポートします。 ファイル名は `lnvgy_sw_scvmmaddin_2.0.0-2.0_windows_32-64.zip` です。インポートの手順については第 4 章を参照してください。

Lenovo XClarity Integrator アドイン のアンインストール

この手順を使用して、Lenovo XClarity Integrator アドインをアンインストールします。

このタスクについて

「Control Panel (コントロール パネル)」で、「Programs and Features (プログラムと機能)」ウィンドウを開きます。GSKit8 Crypt 32-bit、Lenovo XCI SCVMMADDIN、および Lenovo XClarity Integrator Unified Service をアンインストールします。

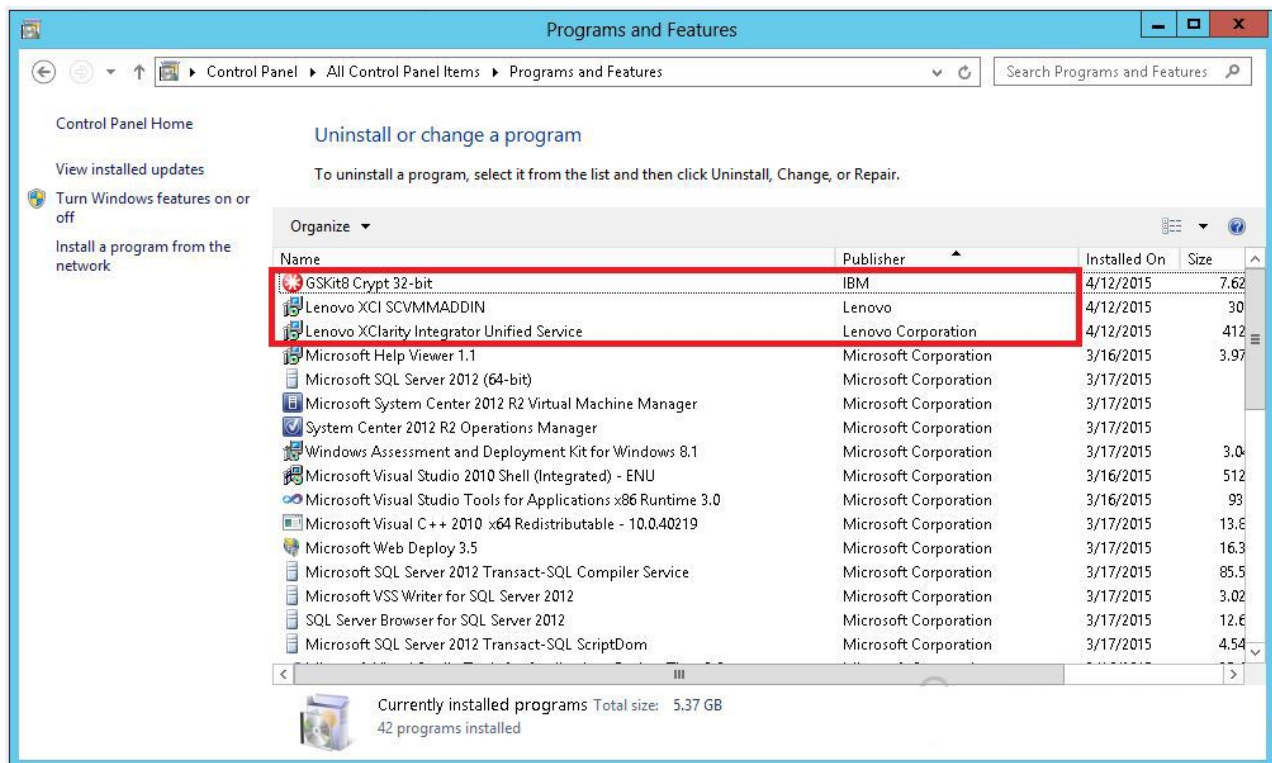


図1. 「Programs and Features (プログラムと機能)」 ウィンドウ

第 4 章 Lenovo XClarity Integrator アドイン の使用

このセクションでは、Lenovo XClarity Integrator Add-in for Microsoft System Center, v2.0 のインポートと起動について説明します。また、ホスト認証の設定手順、ローリング・システム設定の指定手順、統合管理モジュール (IMM) の追加手順についても説明します。

Lenovo XClarity Integrator アドインのインポート

SCVMM アドイン zip ファイルを手動で SCVMM にインポートする必要があります。InstallShield ウィザードを完了すると、指定したフォルダーに Lenovo XClarity Integrator アドインの SCVMM アドイン zip ファイルがコピーされます。以下の手順に従ってインポートします。

手順

1. SCVMM 管理 UI の「Settings (設定)」カテゴリー・ページで、「**Import Console Add-in** (コンソール アドインのインポート)」をクリックします。

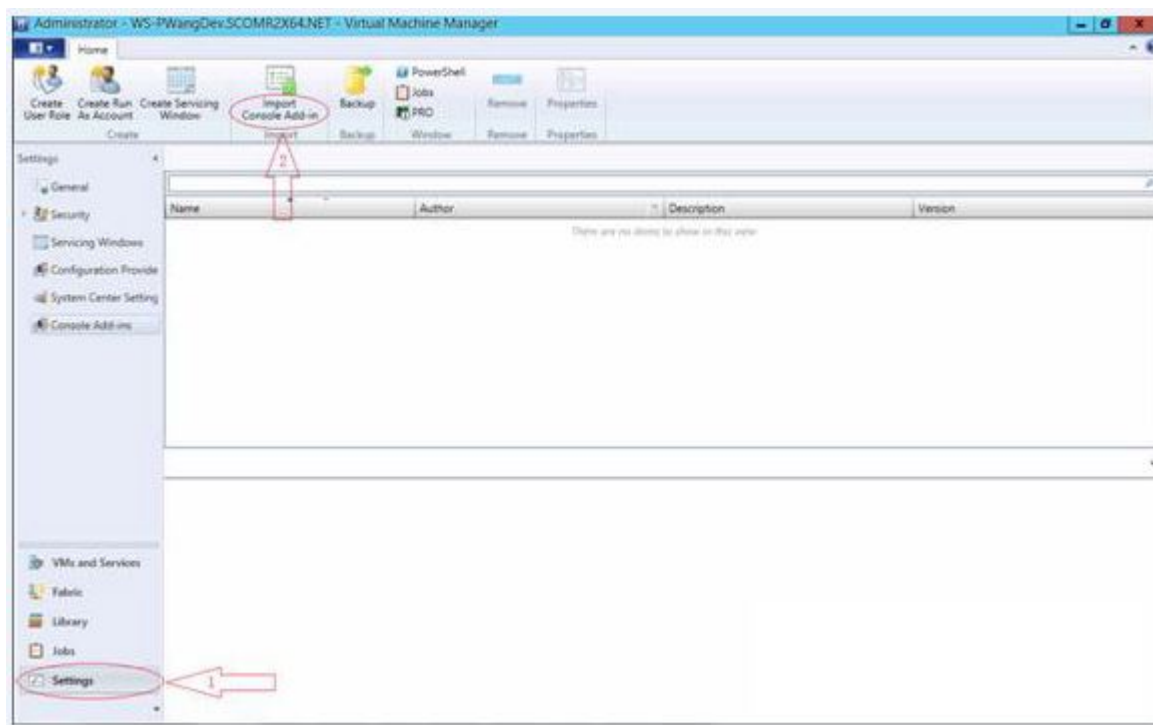


図 2. 「Import Console Add-in (コンソール アドインのインポート)」ボタン

2. 「Import Console Add-in Wizard (コンソール アドインのインポート ウィザード)」ウィンドウで、「**Browse (参照)**」をクリックし、Lenovo XClarity Integrator の SCVMM アドイン ZIP ファイルがある場所へ移動します。通常は、C: Program Files (x86) Lenovo XCI ScvmmAddIn にあります。「**Continue installing this add-in anyway** (このアドインのインストールを続行する)」チェック

ク・ボックスを選択し、「Next (次へ)」をクリックして続行します。

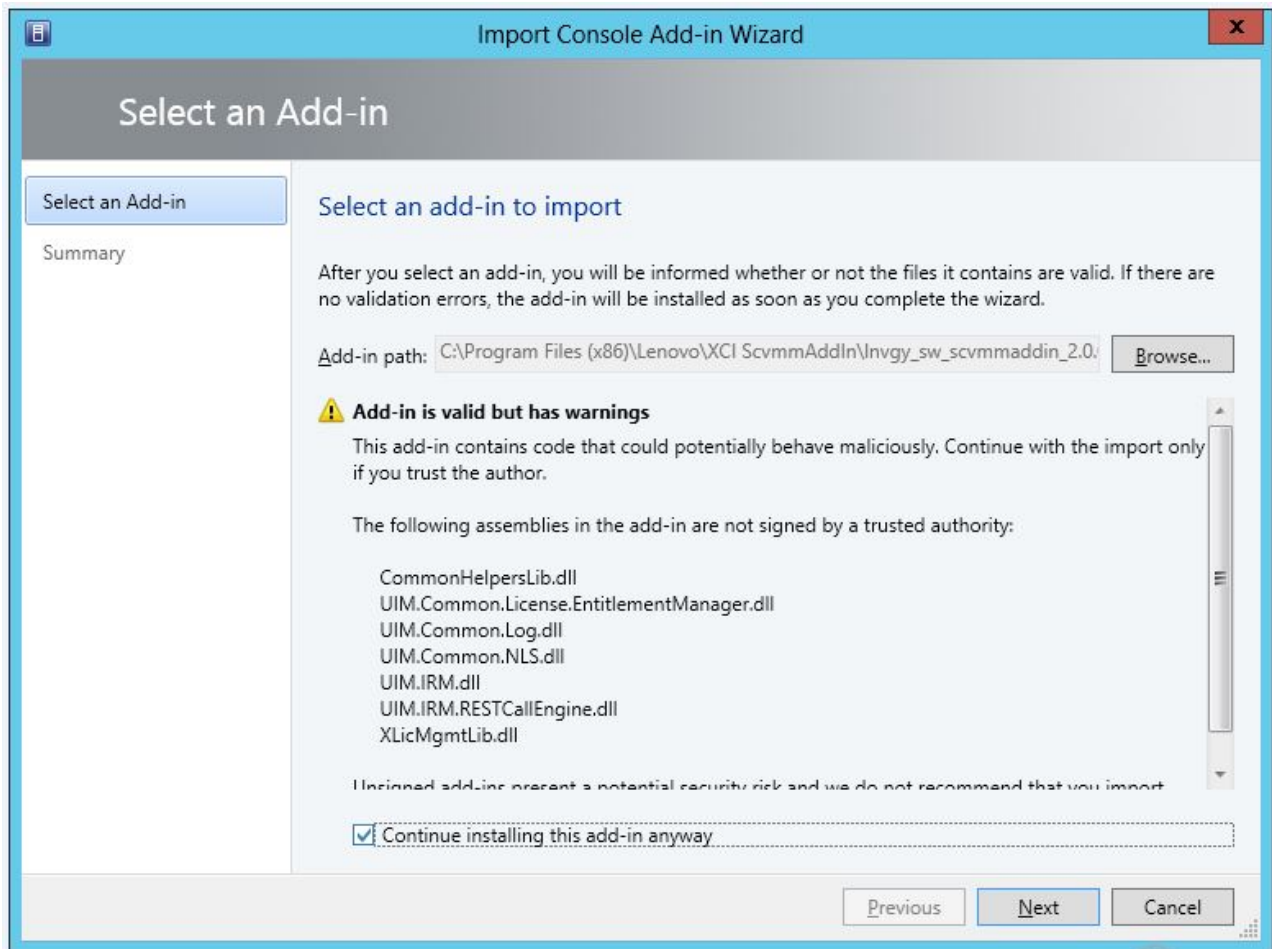


図 3. 「Import Console Add-in Wizard (コンソール アドインのインポート ウィザード)」ウィンドウ

3. 「**Finish (完了)**」をクリックして、インポート処理を続行します。 インポート処理のステータスが、「Jobs (ジョブ)」レポート・コンソールに表示されます。

Lenovo XClarity Integrator アドイン の始動

Lenovo XClarity Integrator アドインの SCVMM アドイン zip ファイルをインポートしたら、以下の手順に従って Lenovo XClarity Integrator アドインを起動します。

始める前に

重要: Lenovo XClarity Integrator アドインには、ホスト、クラスター、シャーシ、ラック、および Lenovo XClarity Administrator を操作するための機能が用意されています。不正な操作を防止するために、Domain Administrators グループのアカウントと、"delegated administrator (代理管理者)" ユーザー・ロールが割り当てられているアカウント以外は、Lenovo XClarity Integrator アドインにアクセスできないようになっています。

手順

1. SCVMM 管理 UI を開きます。

2. SCVMM 管理 UI の左下隅で「VMs and Services (VM とサービス)」または「Fabric (ファブリック)」を選択します。 ナビゲーション・ペインが表示されます。
3. 「All Hosts (すべてのホスト)」を選択します。
4. SCVMM 管理 UI の上部にある「Lenovo XCI」アイコンをクリックします。
5. 「Fabric (ファブリック)」 ページまたは「VMs and Services (VM とサービス)」 ページで、ウィンドウの上部にある「Lenovo XCI」アイコンをクリックします。

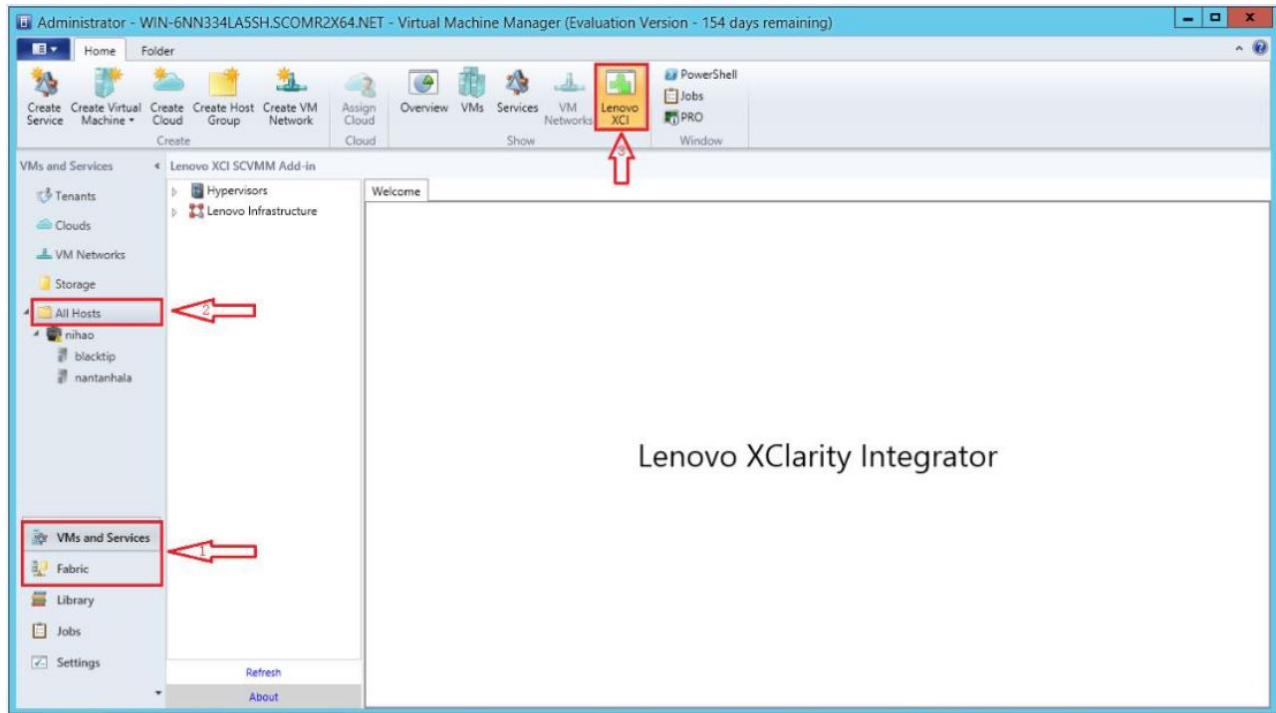


図 4. Lenovo XClarity Integrator アドインの起動

Lenovo XClarity Integrator Add-in for Microsoft System Center, v2.0 コンソールのインターフェースは、2 つのセクションで構成されています。左側のナビゲーション・ペインには、管理対象資産 (ホスト・クラスターと管理対象ホスト。これらは SCVMM 構成と同期されます) と、Lenovo XClarity Administrator およびその管理対象シャースが含まれています。右側のメイン・フレームには、左側のツリー・ビューで選択されている資産に関連する現在の操作が表示されます。左側のナビゲーション・ペインに表示されている資産を更新 (再ロード) するには、Ctrl+F5 キーを押すか、ナビゲーション・ペインの下部にある「**Refresh (最新表示)**」ボタンをクリックします。

ホスト認証の設定

ハイパーバイザー・ノードを使用して、ホストに関する情報を表示します。

マシン・タイプなどの詳細なシステム情報を収集したり、ローリング・システム更新やローリング・システム・リブートなどの一部の Lenovo XClarity Integrator 機能を有効にしたりするには、認証情報が必要です。ホスト認証情報を設定するには、Lenovo XClarity Integrator アドインのナビゲーション・ペインから「Hypervisor (ハイパーバイザー)」を展開し、クラスターを展開して、ホストをクリックします。「Host General (ホスト全般)」ページに「**Authentication OS (認証 OS)**」が表示されます。これをクリックし、「Host Authentication Information (ホスト認証情報)」ダイアログに情報を入力します。ホスト認証を完了するには、次の情報を設定する必要があります。

Run As Account (実行アカウント)

SCVMM の実行アカウントは、SCVMM サービスがターゲット・ホストでスクリプトを実行するために使用されます。すべての Lenovo XClarity Integrator アドイン機能を正しく動作させるには、ドメイン管理者権限を持つアカウントを指定する必要があります。

Username (ユーザー名) と Password (パスワード)

ドメイン管理者権限を持つユーザー・アカウントは、WMI を使用して特定のホストに接続し、システム情報を収集したり、スクリプトとアプリケーションを実行したり、特定のホストの SMB 共有フォルダー (通常は C\$) にアクセスしたりするときに必要です。

注: 管理対象ホストの SMB サービスと WMI サービスが有効になっていることを確認します。暗号化された後、認証情報は、Lenovo XClarity Integrator Unified Service データベースに保存されます。

ホストの「**General (全般)**」タブの下部にある「**Set Auth Info (認証情報の設定)**」ボタンをクリックします。次に、「Set Authentication Information (認証情報の設定)」ウィンドウのフィールドに入力します。情報は、選択したホスト、同じクラスター内のホスト、またはナビゲーション・ペインに表示されているすべてのホストに適用できます。情報を適用した後、待機します。情報が検証され、結果が UI に表示されます。

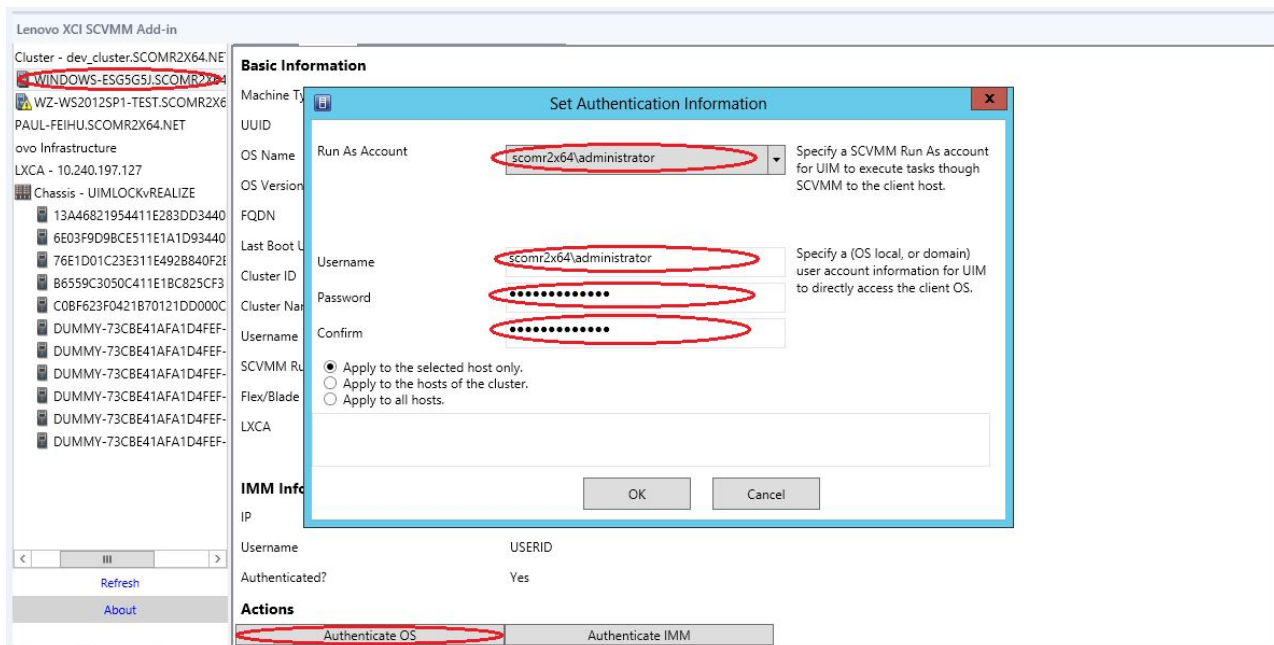


図 5. ホスト認証の設定

ローリング・システム設定の指定

ローリング・システム設定の指定は、ローリング・システム更新機能の前提条件です。以下の手順を使用してください。

手順

1. Lenovo XClarity Integrator アドインのナビゲーション・ペインで「Hypervisor (ハイパーバイザー)」を展開し、ターゲット・クラスターを選択します。
2. メイン・フレームの上部で「Rolling System Update (ローリング・システム更新)」を選択します。
3. 「Rolling System Update (ローリング・システム更新)」ページの「Preferences (設定)」タブをクリックします。
4. 「Local Repository Folder (ローカル・リポジトリ・フォルダー)」セクションで、「Remote Access Credentials (リモート・アクセス資格情報)」を設定します。SCVMM サーバーのユーザー名とパスワードを「Remote Access Credential (リモート・アクセス資格情報)」に設定してください。ホストが SCVMM サーバーにアクセスしてローカル・リポジトリ・フォルダーから更新パッケージをダウンロードするには、リモート・アクセス資格情報が必要です。ローカル・リポジトリ・フォルダーのパスは、「Local Repository Folder (ローカル・リポジトリ・フォルダー)」セクションの上部に表示されています。このパスは変更できません。
5. 利用可能な更新パッケージがある場合は、ローカル・リポジトリ・フォルダーのパスにコピーします。利用可能な更新パッケージがない場合は、「Check Updates from Lenovo Website (Lenovo Web サイトからの更新の確認)」セクションを設定すると、Lenovo Web サイトから自動的に更新パッケージをダウンロード

ドできます。「Check Updates from Lenovo Website (Lenovo Web サイトからの更新の確認)」セクションを設定するには、まず、「Check Updates from Lenovo Website (Lenovo Web サイトからの更新の確認)」のチェック・ボックスにチェック・マークを付けます。次に、インターネットの設定を構成し、更新パッケージを自動的に確認する頻度を選択します。更新パッケージのダウンロードをすぐに開始する場合は、「Check Now (今すぐ確認)」チェック・ボックスにチェック・マークを付けます。その後、パッケージを送信すると、ダウンロード・プロセスが開始されます。

統合管理モジュール (IMM) の追加

統合管理モジュール (IMM) の Lenovo XClarity Integrator アドインへの追加は、PFA 機能などの一部の機能の前提条件です。

IMM の追加には 2 つのステップがあります。

1. IMM 検出
2. IMM 認証

IMM 検出

ここでは、IMM エントリーを検出します。

手順

1. Lenovo XClarity Integrator アドインのナビゲーション・ペインで、「**Hypervisors** (ハイパーバイザー)」または「**Lenovo Infrastructure (Lenovo インフラストラクチャー)**」のルート・エントリーを選択します。
2. メイン・フレームの上部で、「IMM Management (IMM 管理)」ページを選択します。
3. 「**Discover (ディスカバリー)**」ボタンをクリックします。「IMM Discovery (IMM 検出)」ダイアログが表示されます。
4. 単一の IP アドレスまたは IP アドレス範囲を入力します。IPv4 および IPv6 がサポートされます。
5. 「IMM Discovery (IMM 検出)」ダイアログで「**OK**」ボタンをクリックします。

「**Run in the background (バックグラウンドで実行)**」オプションが選択されている場合はすぐにダイアログが閉じます。選択されていない場合は、検出プロセスが正常に完了するとダイアログが閉じます。実際に検出された IMM エントリーの数に関係なく、要求が処理されて返されれば正常に完了したことになります。

要求が正常に完了すると、新たに検出された IMM エントリーで「IMM Management (IMM 管理)」ページの IMM テーブルが更新されます。

要求の処理に失敗した場合はダイアログが開いたままになります。この問題は、通信障害のために要求がサーバーに届かなかった場合などに起こる可能性があります。

IMM 認証

ここでは、IMM エントリーのユーザー名とパスワードの情報を入力します。この情報は、将来その他の機能でできるように Lenovo XClarity Integrator データベースに保存されます。

手順

1. Lenovo XClarity Integrator アドインのナビゲーション・ペインで、「**Hypervisors** (ハイパーバイザー)」または「**Lenovo Infrastructure (Lenovo インフラストラクチャー)**」のルート・エントリーを選択します。
2. メイン・フレームの上部で、「**IMM Management (IMM 管理)**」ページを選択します。
3. 認証する IMM の横にあるチェック・ボックスを選択します。
4. 「**Authenticate (認証)**」ボタンをクリックします。「**IMM Authentication (IMM 認証)**」ダイアログが表示されます。
5. ユーザー名とパスワードの情報を入力します。
6. 「**OK**」をクリックします。 要求が正常に完了すると、「**IMM Management (IMM 管理)**」ページの IMM テーブルが更新されます。

Lenovo XClarity Administrator の追加

Lenovo XClarity Administrator (LXCA) の Lenovo XClarity Integrator アドインへの追加は、Lenovo XClarity Administrator (LXCA) に関する一般情報の表示や管理対象シャーシのシャーシ・マップの表示などの一部の機能の前提条件です。Lenovo XClarity Administrator を Lenovo XClarity Administrator (LXCA) に追加するには、このセクションの手順を実行します。

手順

1. ナビゲーション・ペインで「**Lenovo Infrastructure (Lenovo インフラストラクチャー)**」をクリックします。
2. メイン・フレームの上部にある「**LXCA Registration (LXCA 登録)**」タブをクリックします。 メイン・フレームに「**Registered LXCA (登録済み LXCA)**」ページが表示されます。このページにはすべての登録済み LXCA が表示されます。
3. 「**Register (登録)**」ボタンをクリックして LXCA の登録を開始します。 LXCA の登録ダイアログが表示されます。
4. LXCA の登録ダイアログで、Lenovo xClarity Administrator (LXCA) の IP アドレス、ユーザー名、パスワード、およびポートを入力します。 送信すると、Lenovo XClarity Integrator アドインが Lenovo XClarity Administrator (LXCA) に接続して認証を行います。
5. 登録したら、「**Refresh (最新表示)**」ボタンをクリックしてナビゲーション・ペインを更新します。

第 5 章 機能の使用

ここでは、Lenovo XClarity Integrator アドインの機能について説明します。

情報の収集

Lenovo XClarity Integrator アドインでは、システムの管理に役立つホスト、シャーシ、および Lenovo XClarity Administrator の情報を収集します。

ホスト情報の表示

SCVMM で構成されているホスト・クラスター内のホストに関する一般情報を表示できます。

SCVMM でホスト・クラスターを構成する方法については、<https://technet.microsoft.com/en-us/library/cc956009.aspx> を参照してください。

ホスト情報を表示するには、Lenovo XClarity Integrator アドインのナビゲーション・ペインから「Hypervisor (ハイパーバイザー)」を展開し、クラスターを展開して、ホストをクリックします。

クラスター内のホストに関する一般情報を表示するには、Lenovo XClarity Integrator Add-in for Microsoft System Center, v2.0 UI のナビゲーション・ペインから「**Hypervisor (ハイパーバイザー)**」ノードを展開し、ホストが存在するクラスターを選択して、そのホストを選択します。

クラスター外のホストに関する一般情報を表示するには、Lenovo XClarity Integrator Add-in for Microsoft System Center, v2.0 UI のナビゲーション・ペインから「**Hypervisor (ハイパーバイザー)**」ノードを展開し、そのホストを選択します。

Lenovo XClarity Administrator に関する一般情報の表示

Lenovo XClarity Administrator で管理されているシャーシの Lenovo XClarity Administrator に関する一般情報を表示できます。

Lenovo XClarity Administrator の一般情報を表示するには、まず Lenovo XClarity Administrator を登録する必要があります。詳しくは、第 4 章を参照してください。

次に、ナビゲーション・ペインから Lenovo インフラストラクチャーを展開し、ターゲットの Lenovo XClarity Administrator のいずれかを選択します。Lenovo XClarity Administrator に関する一般情報が次のようにメイン・フレームに表示されます。

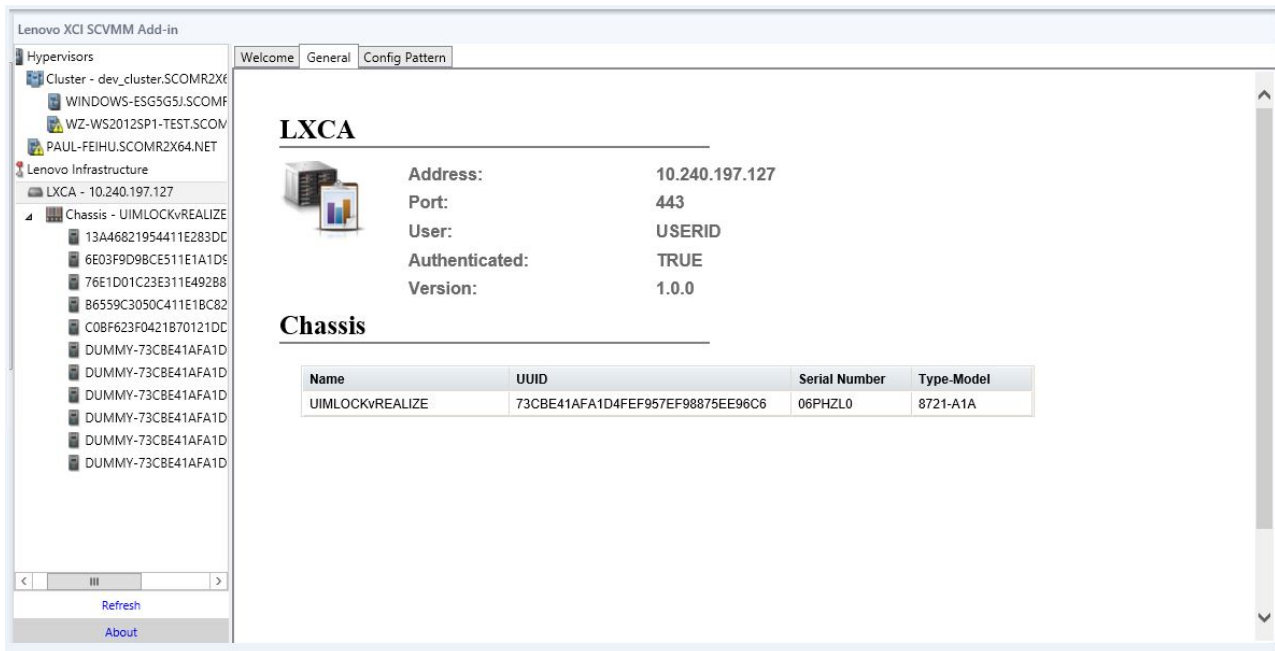


図 6. Lenovo XClarity Administrator に関する一般情報

シャーシ・マップの表示

Lenovo XClarity Administrator を Lenovo XClarity Integrator アドインに登録したら、Lenovo XClarity Administrator で管理されているシャーシのシャーシ・マップを確認できます。

一覧表示されているターゲットの Lenovo XClarity Administrator のいずれか（「LXCA - 10.240.190.4」など）を展開し、確認するシャーシを選択します。

シャーシ・マップ機能の操作

「Chassis (シャーシ)」ページで、「Chassis (シャーシ)」列にあるシャーシのリンクをクリックします。そのシャーシの「Chassis View (シャーシの表示)」ページが表示されます。

シャーシ・マップはシャーシのグラフィカル・ビューです。「テーブル・ビュー」をクリックして、そのコンポーネントのステータスをテーブル・ビューで表示することもできます。

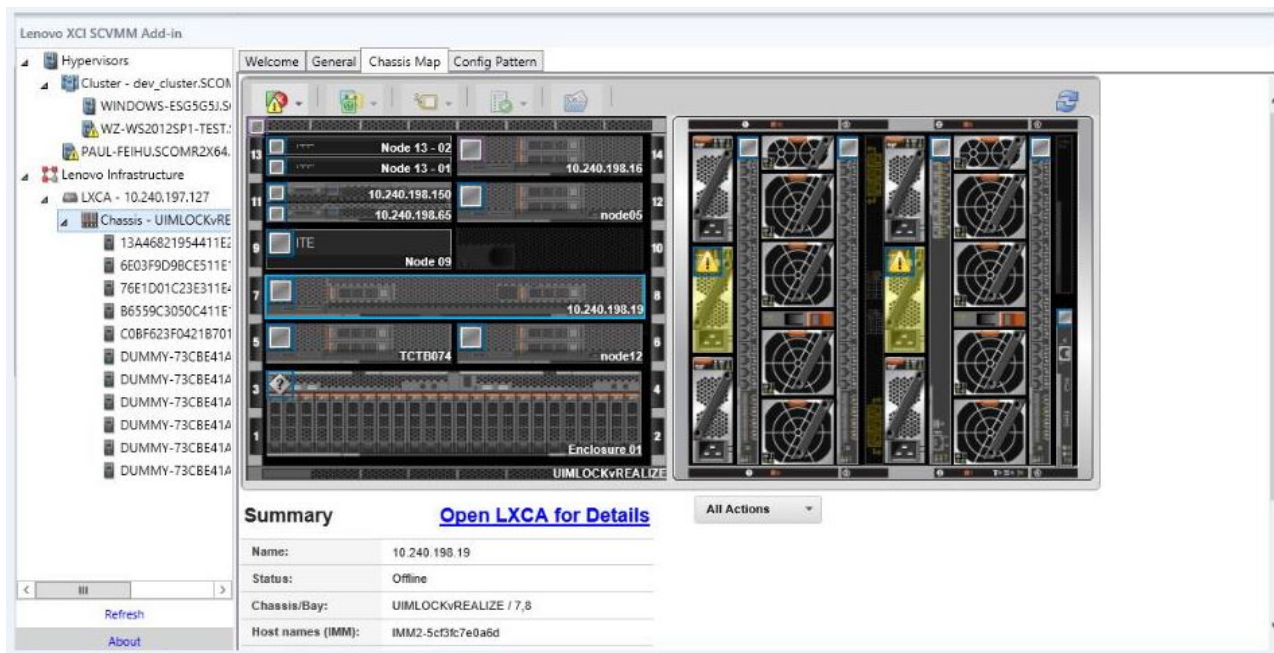


図 7. シャーシ・マップ

表 5. ハードウェア・マップ・オーバーレイ

オーバーレイ	アイコン	説明
ハードウェア・ステータス		ハードウェア・ステータスのオーバーレイを使用して、各コンポーネントのステータスを表示します。表示する 1 つ以上のステータス基準を以下から選択できます。 • 「重大」。コンポーネントに 1 つ以上の重大アラートがあり、即時のユーザー操作が必要です。 • 「警告」。コンポーネントに 1 つ以上の警告アラートがあります。警告の原因を特定するためにユーザーによる調査が必要ですが、即時の機能停止の危険性はありません。 • 「Synchronizing (同期)」。LXCA は、コンポーネントが更新ステータスを提供するのを待機しています。 • 「オフライン」。コンポーネントがオンラインになっていません。 • 「不明」。LXCA はシャード内の 1 台以上のコンポーネントからステータスを取得できません。ユーザーによる調査が必要になる場合があります。 • 「正常」。コンポーネントは正常に動作しています。特定のコンポーネントをポイントすると、現在のステータスに関する詳細情報が表示されます。

表 5. ハードウェア・マップ・オーバーレイ (続き)

オーバーレイ	アイコン	説明
前面パネル LED の強調表示		前面パネル LED の強調表示オーバーレイを使用して、各コンポーネントに使用できる LED を表示します。1 つ以上の LED を以下から選択できます。 • 「電源 LED」。各コンポーネントの現在の電源 LED を表示します。 • 「イベント・ログ LED」。イベント・ログ LED を表示します。この LED は、LXCA イベント・ログ内のコンポーネントに固有のイベントがあるときに点灯します。 • 「ロケーション LED」。ロケーション LED を表示します。この LED は CMM から点灯させることができ、コンポーネントが物理的に配置されている場所を特定するために役立ちます。 • 「障害 LED」。各コンポーネントの障害 LED のステータスを表示します。 • 「その他の LED」。各コンポーネントに使用できる他のすべての LED を表示します。 • 「アクティブ LED のみ」。現在点灯している LED のみを表示します。 特定のコンポーネントをポイントすると、そのコンポーネントのすべての LED に関する詳細情報が表示されます。コンポーネントについて表示できる各 LED について詳しくは、そのコンポーネントに付属の製品ドキュメントを参照してください。

表 5. ハードウェア・マップ・オーバーレイ (続き)

オーバーレイ	アイコン	説明
コンポーネントの名前とプロパティ		コンポーネントの名前とプロパティのオーバーレイを使用して、シャーシ内の各コンポーネントの名前を表示します。コンポーネントをポイントすると、IP アドレスや UUID など、そのコンポーネントに関する追加のプロパティが表示されます。
コンプライアンス		コンプライアンスのオーバーレイを使用して、コンポーネントに現在インストールされているファームウェアが、そのコンポーネントに定義されたコンプライアンス・ポリシーに準拠しているかどうかを調べます。
構成パターン		構成パターンのオーバーレイを使用して、いずれのサーバー・パターンが各計算ノードに割り当てられているかを調べます。

管理対象シャーシの詳細の表示

管理対象シャーシの詳細情報は、「Open LXCA for Details (LXCA を開いて詳細を確認)」リンクをクリックすると LXCA から表示できます。

この詳細情報には、ファームウェア・レベル、IP アドレス、世界固有識別子 (UUID) などが表示されます。

「All Action (すべての操作)」ボタン

シャーシ・マップ・ページには「All Action (すべての操作)」ボタンがあります。このボタンをクリックすると、IMM インターフェースにアクセスして選択したホストをリモートで制御できます。

管理モジュールのインターフェースを起動

シャーシ・マップ・ページでシャーシまたはホストを選択すると、新しいウィンドウで IMM Web ページを開くことができます。

リモート制御の起動

リモート制御を開くには、「Chassis Map (シャーシ・マップ)」ビューでホストを選択します。

監視

このセクションでは、RAS の管理、ポリシーの設定、サーバー・ノードからの VM の自動移行機能の無効化、およびイベント履歴の表示について説明します。

PFA 管理

この機能を使用すると、指定したハードウェア・イベントが発生した場合に仮想マシン (VM) を自動的に移行できます。

始める前に

これはクラスター・ベースの機能です。操作を続行する前に、SCVMM でクラスターを作成し、クラスターにホストを追加する必要があります。クラスター共有ボリューム (CSV) も必要です。詳細については、Microsoft System Center のトピック「VMM での Hyper-V ホスト クラスターの作成の概要」を参照してください。

14 ページの『統合管理モジュール (IMM) の追加』の手順を実行する必要もあります。

ポリシーの設定

ポリシーの設定機能を使用すると、条件およびイベント・カテゴリーを指定して、選択したサーバー・ノードに対する VM の自動移行を有効にすることができます。

始める前に

『PFA 管理』の前提条件を完了します。

手順

1. 左側のホスト・ナビゲーション・ペインで、「**Hypervisors (ハイパーバイザー)**」ルート・エントリー、クラスター、またはクラスター内のハイパーバイザー・ノードを選択します。
2. 右側のペインの上部で、「**PFA Management (PFA 管理)**」ページを選択します。「RAS Management (RAS 管理)」ページが開きます。
3. 「**Set Policy (ポリシーの設定)**」ボタンをクリックします。「Set Policy (ポリシーの設定)」ダイアログが表示されます。
4. 上部のドロップダウン・リストから「**Enable VM migration on hardware events (ハードウェア上での VM 移行の有効化イベント)**」を選択します。
5. 必要に応じて、「**Conditions (条件)**」、「**Event Categories (イベント・カテゴリー)**」、および「**Hosts (ホスト)**」を選択またはクリアします。IMM の検出または認証が完了していないホストは選択できません。
6. 「**OK**」をクリックします。設定の確認を求めるページが表示されます。
7. 「**OK**」をクリックします。
8. 下部にある「**Back (戻る)**」リンクをクリックして、「RAS Management (RAS 管理)」ページに戻ります。

サーバー・ノードからの VM の自動移行機能の無効化

この機能を使用すると、選択したサーバー・ノードからの VM の自動移行を無効にできます。

始める前に

『PFA 管理』の前提条件を完了します。

手順

1. 左側のホスト・ナビゲーション・ペインで、「**Hypervisors (ハイパーバイザー)**」ルート・エントリー、クラスター、またはクラスター内のハイパーバイザー・ノードを選択します。
2. 右側のペインの上部で、「**PFA Management (PFA 管理)**」ページを選択します。「RAS Management (RAS 管理)」ページが開きます。
3. 「**Set Policy (ポリシーの設定)**」ボタンをクリックします。「Set Policy (ポリシーの設定)」ダイアログが表示されます。
4. 上部のドロップダウン・リストから「Disable VM migration on hardware events (ハードウェア上での VM 移行の無効化イベント)」を選択します。
5. 必要に応じて、ホストの選択を変更します。
6. 「**OK**」をクリックします。設定の確認を求めるページが表示されます。
7. 「**OK**」をクリックします。
8. 下部にある「Back (戻る)」リンクをクリックして、「RAS Management (RAS 管理)」ページに戻ります。

イベント履歴の表示

「View Event History (イベント履歴の表示)」機能を使用すると、発生したハードウェア・イベントと、それらに対して実施された処置を確認できます。

始める前に

23 ページの『PFA 管理』の前提条件を完了します。

手順

1. 左側のホスト・ナビゲーション・ペインで、「**Hypervisors (ハイパーバイザー)**」ルート・エントリー、クラスター、またはクラスター内のハイパーバイザー・ノードを選択します。
2. 右側のペインの上部で、「**PFA Management (PFA 管理)**」ページを選択します。「RAS Management (RAS 管理)」ページが開きます。
3. 「**View Event History (イベント履歴の表示)**」ボタンをクリックします。「**RAS Events (RAS イベント)**」ページが開き、「PFA Management (PFA 管理)」ページのテーブルに表示されているホストの RAS イベントとイベントの操作履歴が表示されます。
4. 下部にある「Back (戻る)」リンクをクリックして、「RAS Management (RAS 管理)」ページに戻ります。

更新

この章では、ローリング・システム・リブートとローリング・システム更新について説明します。

ローリング・システム・リブート

ローリング・システム・リブート (RSR) 機能は、システムを実行し続けながら、サーバーをリブートします。その際、サーバー・ホストでアプリケーション・サービスの中断は発生しません。

始める前に

- 11 ページの『ホスト認証の設定』で説明されている情報を設定する必要があります。
- 13 ページの『ローリング・システム設定の指定』の手順を完了する必要があります。

このタスクについて

ローリング・システム・リブート (RSR) には、ローリング・リブート・タスクの管理に役立つタスク・マネージャーが用意されています。タスクには、ローリング・リブートに関するすべての情報とオプションが含まれます。

タスク・マネージャーは、以下のタスク・オプションを備えています。

- ローリング・システム・リブート・タスクの作成。タスク・タイプに関係なく、クラスターごとに 1 つのアクティブ・タスクのみが許可されています。次のタスク・タイプがあります。
 - 更新のみ
 - 更新とリブート
 - リブートのみ
- 開始されていないローリング・システム・リブート・タスクの編集
- ローリング・システム・リブート・タスクのタスク・リストからの削除
- 実行中のローリング・システム・リブート・タスクのキャンセル
- ローリング・システム・リブート・タスクのステータスの表示

手順

1. Lenovo XClarity Integrator アドインのナビゲーション・ペインで「Hypervisor (ハイパーバイザー)」を展開し、ターゲット・クラスターを選択します。
2. メイン・フレームの上部で「Rolling System Reboot (ローリング・システム・リブート)」を選択します。「Task Management (タスク管理)」ページが表示されます。
3. 次のいずれかを実行します。
 - タスクの作成
 - タスクの編集
 - タスクの削除
 - タスクのキャンセル
 - ページのタスク・リストの更新

「**Create (作成)**」ボタンまたは「**Edit (編集)**」ボタンをクリックすると、「Create/Edit Task (タスクの作成/編集)」ウィザードを使用してタスクを作成または編集できます。

表 6. ローリング・システム・リブート・タスクのステータス

ターゲット	ステータス	説明
ローリング・リブート	未開始	タスクは開始されていません。

表 6. ローリング・システム・リブート・タスクのステータス (続き)

ターゲット	ステータス	説明
タスク	実行中	タスクは実行中です。
	キャンセル	タスクはキャンセルされました。
	失敗	タスクの失敗の原因: • ホストのリブートに失敗した • VM の移行に失敗した
	終了	タスクは完了しました。
ホスト	未開始	ホストのリブートは開始されていません。
	移行中	ホストは保守モードに入りました。
	保守	ホストは保守モードです。
	リブート	ホストは更新され、リブート中です。
	保守の終了	ホストの保守モードが終了しました。
	成功	リブートおよび保守の終了に成功しました。
	失敗	ホスト障害の原因: • 保守モードを開始できない • ホストをリブートできない • 保守モードを終了できない

ローリング・システム更新

ローリング・システム更新機能は、システムを実行し続けながらサーバーを更新するのに役立ちます。サーバー・ホストでアプリケーション・サービスの中断は発生しません。

始める前に

- 11 ページの『ホスト認証の設定』で説明されている情報を設定する必要があります。
- 13 ページの『ローリング・システム設定の指定』の手順を完了する必要があります。

このタスクについて

ローリング・システム更新機能には、ローリング更新タスクの管理に役立つタスク・マネージャーが用意されています。タスクには、ローリング更新に関するすべての情報とオプションが含まれます。

タスク・マネージャーは、以下のタスク・オプションを備えています。

- ローリング・システム更新タスクの作成。タスク・タイプに関係なく（「Update Only (更新のみ)」、「Update and Reboot (更新とリブート)」、「Reboot Only (リブートのみ)」）、クラスターごとに 1 つのアクティブ・タスクのみが許可されています。
- 開始されていないローリング・システム更新タスクの編集。
- ローリング・システム更新タスクのタスク・リストからの削除。
- 実行中のローリング・システム更新タスクのキャンセル。
- ローリング・システム更新タスクのステータスの表示。

手順

1. Lenovo XClarity Integrator アドインのナビゲーション・ペインで「Hypervisor (ハイパーバイザー)」を展開し、ターゲット・クラスターを選択します。
2. メイン・フレームの上部で「Rolling System Update (ローリング・システム更新)」を選択します。「Task Management (タスク管理)」ページが表示されます。
3. 次のいずれかを実行します。
 - タスクの作成
 - タスクの編集
 - タスクの削除
 - タスクのキャンセル
 - ページのタスク・リストの更新

「**Create (作成)**」ボタンまたは「**Edit (編集)**」ボタンをクリックすると、「Create/Edit Task (タスクの作成/編集)」ウィザードを使用してタスクを作成または編集できます。

表 7. ローリング・システム更新タスクのステータス

ターゲット	ステータス	説明
ローリング・リブート	未開始	タスクは開始されていません。
タスク	実行中	タスクは実行中です。
	キャンセル	タスクはキャンセルされました。
	失敗	タスクの失敗の原因: • ホストのリブートに失敗した • VM の移行に失敗した
	終了	タスクは完了しました。

表 7. ローリング・システム更新タスクのステータス (続き)

ターゲット	ステータス	説明
ホスト	未開始	ホストのリブートは開始されていません。
	移行中	ホストは保守モードに入りました。
	保守	ホストは保守モードです。
	リブート	ホストは更新され、リブート中です。
	保守の終了	ホストの保守モードが終了しました。
	成功	リブートおよび保守の終了に成功しました。
	失敗	ホスト障害の原因: • 保守モードを開始できない • ホストをリブートできない • 保守モードを終了できない

構成

ここで説明した機能はすべて Lenovo XClarity Administrator に基づいているため、構成パターンの操作方法について説明します。

構成パターン

構成パターン機能を使用すると、構成パターンを簡単にデプロイできます。構成パターンは、事前 OS サーバー構成を表します。これには、ローカル・ストレージ構成、I/O アダプター構成、ブート設定、その他の IMM および uEFI ファームウェア設定が含まれます。構成パターンは、複数のサーバーを同時にすばやく構成するための全体的なパターンとして使用されます。

始める前に

- 15 ページの『Lenovo XClarity Administrator の追加』の手順を完了する必要があります。
- Lenovo XClarity Administrator にログオンし、その Web サイトで構成パターンを作成する必要があります。

「Configuration Pattern (構成パターン)」ページを開くには、以下の手順のステップを実行します。

手順

1. ナビゲーション・ペインで「Lenovo Infrastructure (Lenovo インフラストラクチャー)」を展開し、LXCA または LXCA の項目をクリックします。
2. メイン・フレームの上部にある「**Config Pattern (構成パターン)**」タブをクリックします。「Config Pattern (構成パターン)」ページが表示されます。

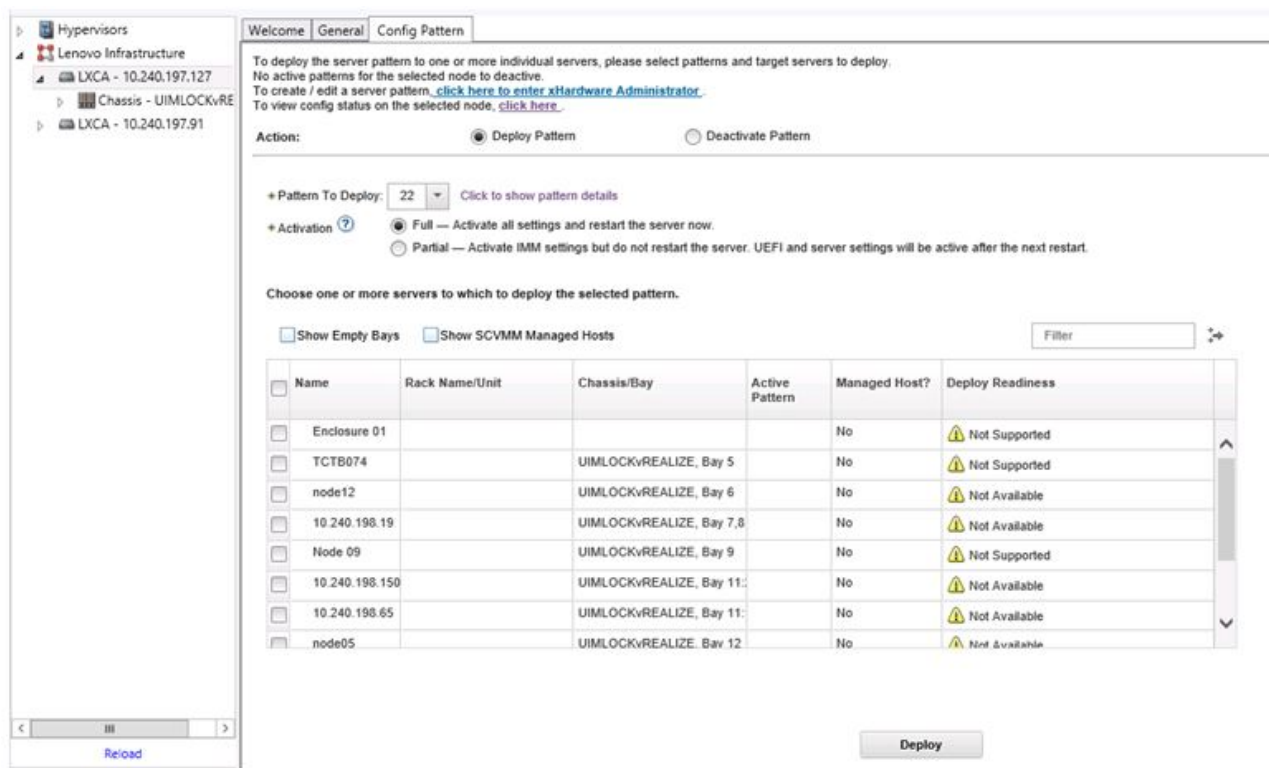


図 8. 「Configuration Pattern (構成パターン)」 ページ

構成パターンのデプロイ

このセクションの手順を実行して、「Configuration Pattern (構成パターン)」 ページで構成パターンをデプロイできます。

手順

1. 実行する操作として「**Deploy Pattern (パターンのデプロイ)**」を選択します。
2. デプロイするパターンを選択します。「**Pattern to Deploy (デプロイするパターン)**」 リストに項目が表示されていない場合は、Lenovo XClarity Administrator にログインし、パターンを作成する必要があります。
3. 構成パターンをどのようにアクティブ化するかについて選択を行います。
 - 「**Full (全部)**」: すべての設定をアクティブ化し、サーバーを今すぐ再起動します。
 - 「**Partial (一部)**」: IMM 設定をアクティブ化しますが、サーバーを再起動しません。uEFI およびサーバーの設定は、次の再起動の後でアクティブになります。
4. 構成パターンのデプロイ先にするシステムを選択します。
5. 「**デプロイ**」をクリックします。要約ダイアログが表示され、選択内容を確認できます。

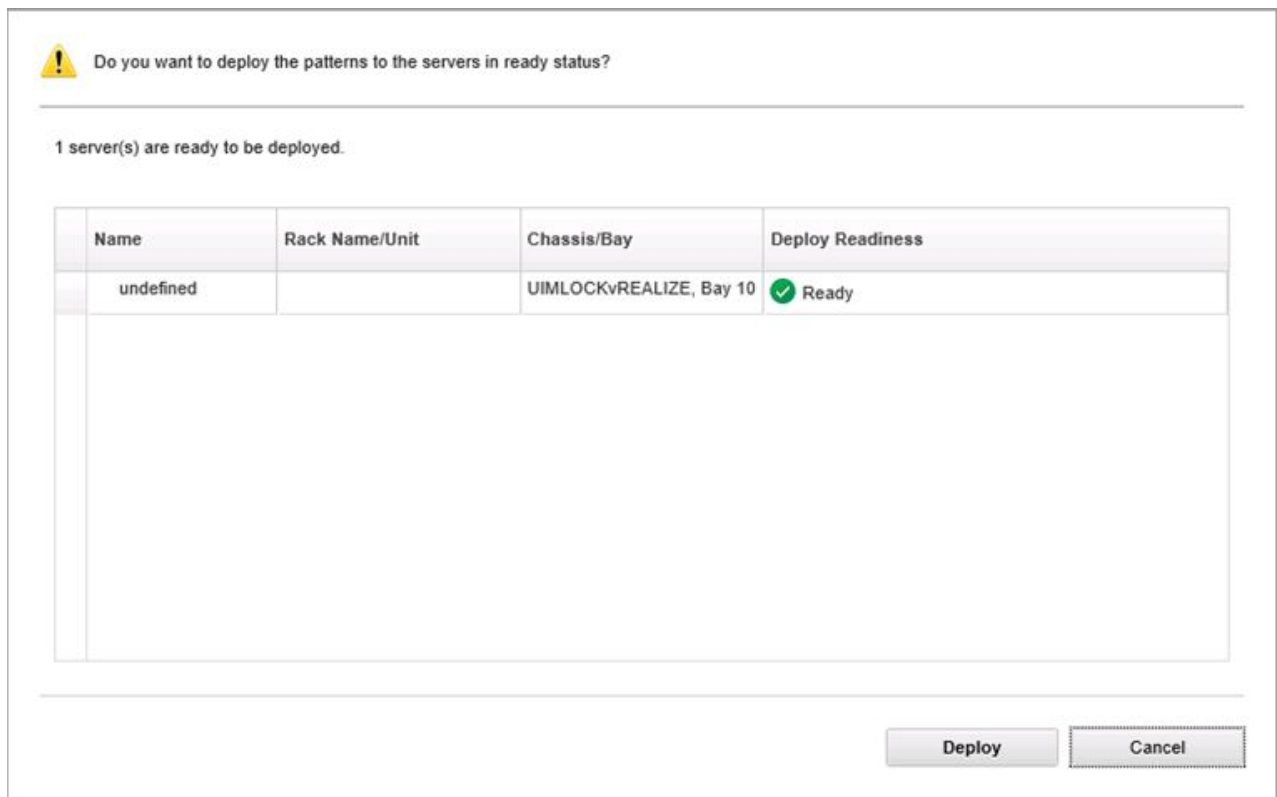


図 9. 構成パターンのデプロイメントの要約ダイアログ

6. 「デプロイ」をクリックします。

デプロイメント要求が送信されていることを示す確認ウィンドウが表示されます。



図 10. デプロイメント要求の確認ウィンドウ

送信が完了すると、別の確認ウィンドウが表示されます。

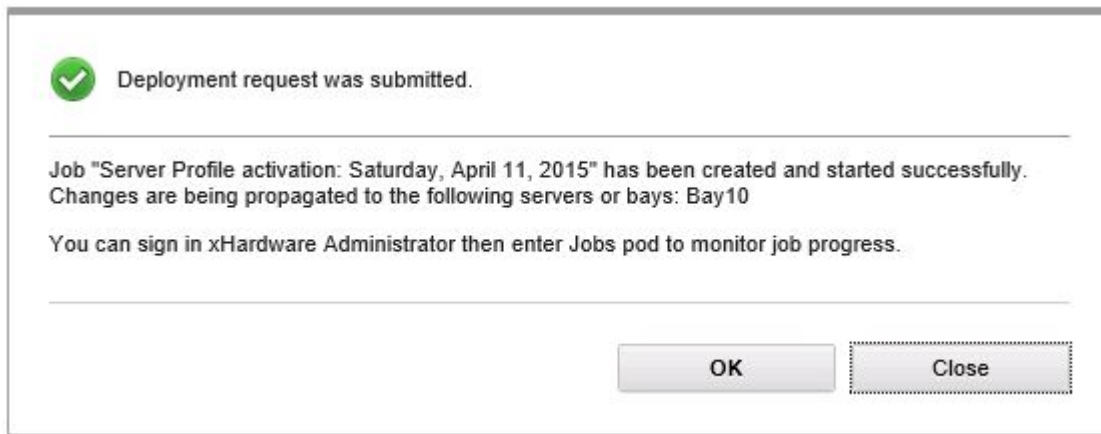


図 11. デプロイメント要求の送信完了の確認ウィンドウ

タスクの結果

サーバー・パターンの詳細を表示するには、「Deploy Server Pattern (サーバー・パターンのデプロイ)」ウィンドウの「Click to show pattern details (クリックすると、パターンの詳細が表示されます)」リンクをクリックします。以下の画面の例のようなサーバー・パターンの詳細が表示されます。

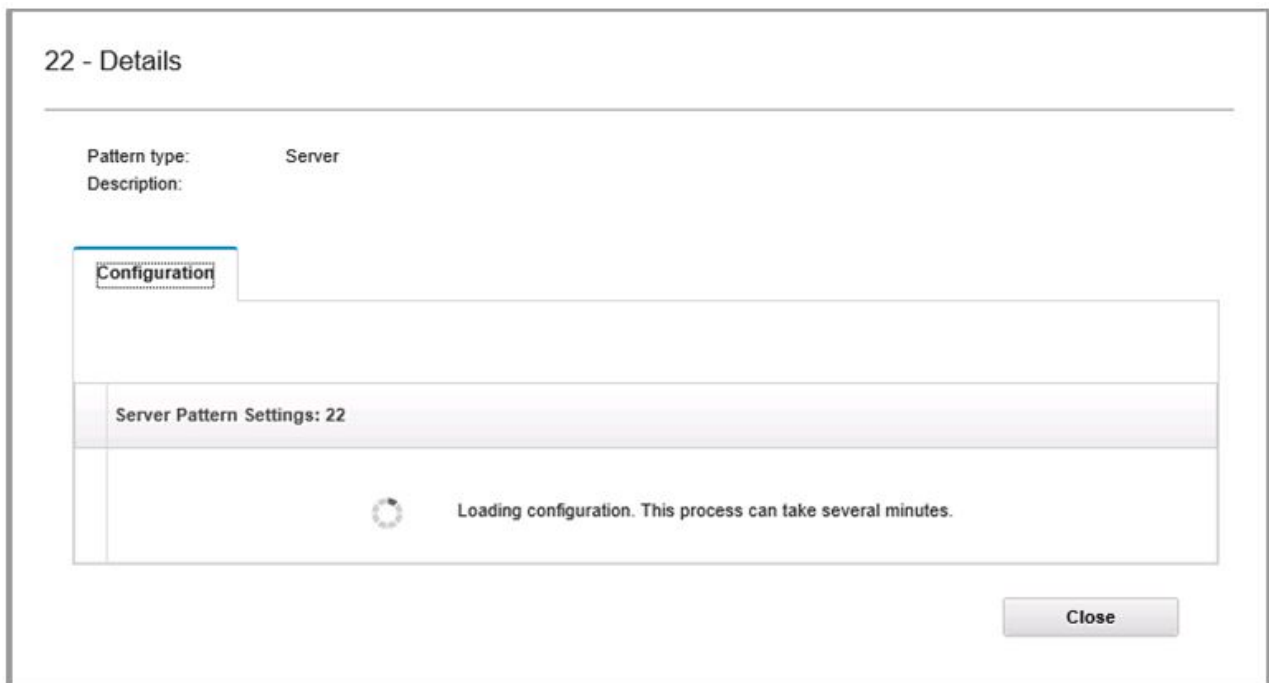


図 12. サーバー・パターンの詳細

構成パターンの非アクティブ化

このセクションの手順を実行して、「Configuration Pattern (構成パターン)」ページで構成パターンを非アクティブ化できます。

手順

1. 実行する操作として「**Deactivate Pattern** (パターンの非アクティブ化)」を選択します。

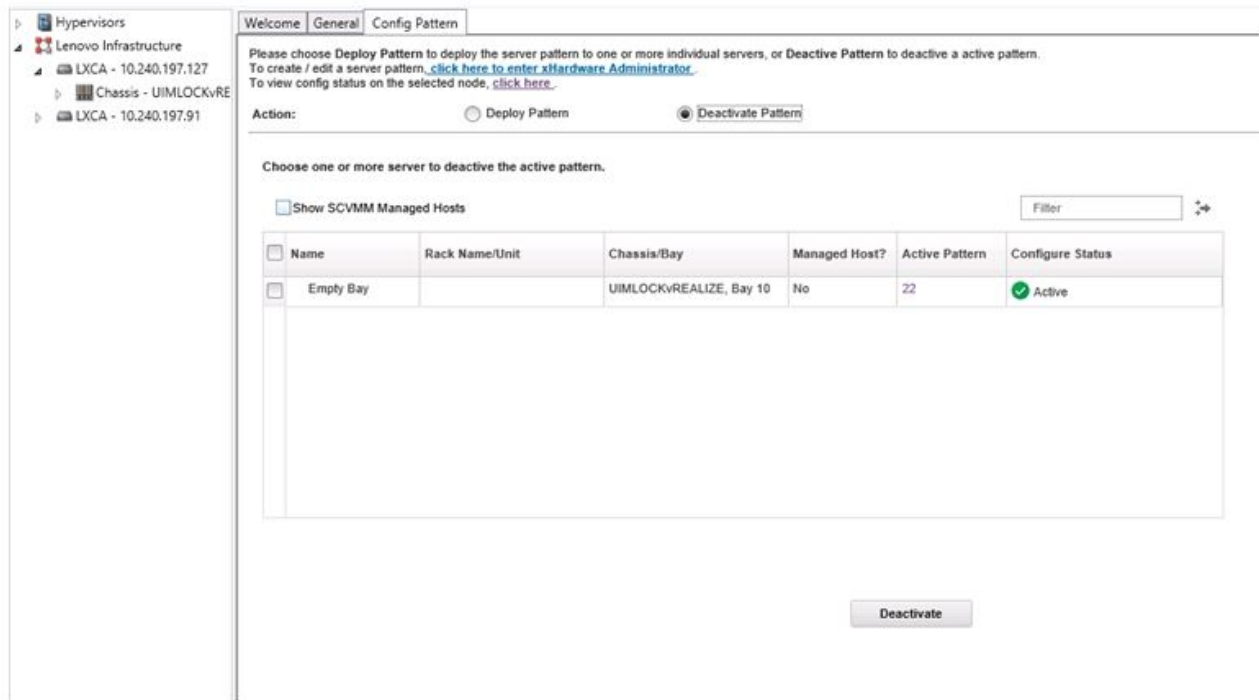


図 13. 構成パターンの非アクティブ化

2. 非アクティブ化する構成パターンの横にあるチェック・ボックスを 1 つ以上選択します。
3. 「**Deactivate (非アクティブ化)**」ボタンをクリックします。「Deactivate Server Pattern (サーバー・パターンの非アクティブ化)」ダイアログが表示されます。

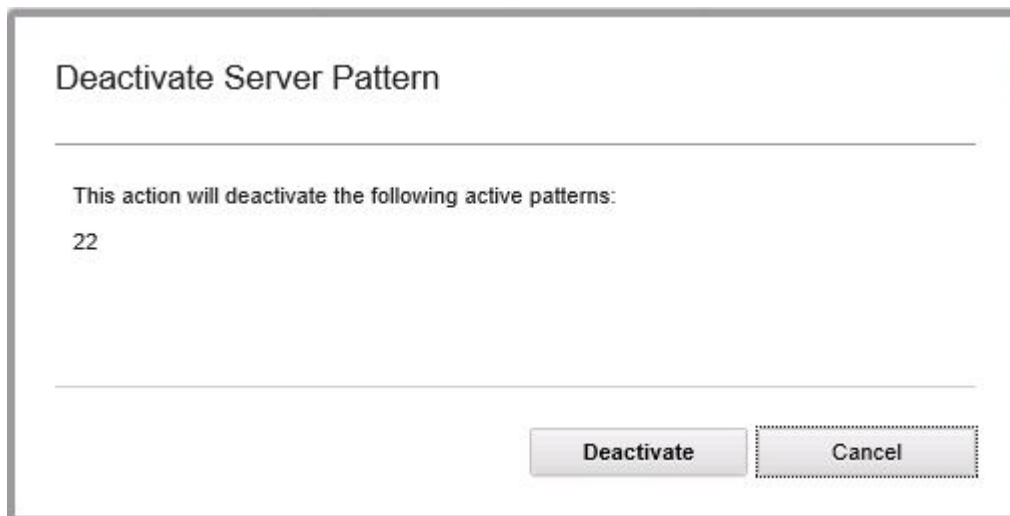


図 14. 「Deactivate Server Pattern (サーバー・パターンの非アクティブ化)」ダイアログ

4. 「**Deactivate (非アクティブ化)**」ボタンをクリックして、構成パターンを非アクティブ化することを確認します。

構成パターンを非アクティブ化している間、ステータス・ダイアログが表示されます。



図 15. 非アクティブ化のステータス・ダイアログ

非アクティブ化が完了すると、「Pattern Deactivation Summary (パターンの非アクティブ化の要約)」ダイアログが表示されます。

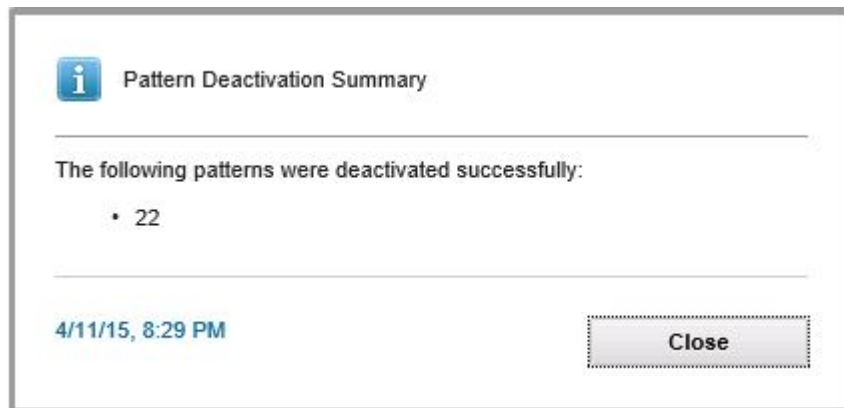


図 16. 「Pattern Deactivation Summary (パターンの非アクティブ化の要約)」ダイアログ

5. 「**Close (閉じる)**」ボタンをクリックして、「Configuration Pattern (構成パターン)」ページに戻ります。

第 6 章 トラブルシューティング

ここでは、アドインに関して発生する可能性のある状況と、それを解決する方法について説明します。

SCVMM ホスト・リストに表示されているホストが、Lenovo XClarity Integrator アドイン に表示されない

SCVMM ホスト・リストに表示されているホストが、Lenovo XClarity Integrator アドインに表示されないことがあります。この問題を回避するには、ホストを SCVMM に手動で追加します。

このタスクについて

SCVMM ホスト・リストに表示されているホストが Lenovo XClarity Integrator アドイン・ホスト・リストに表示されないことがあります。これは、SCVMM Service および SCVMM Agent アプリケーションが、ホストの BIOS からハードウェア・システム UUID を取得できないときに発生します。SCVMM Service および Agent アプリケーションは、この情報を後で収集する可能性があります、実際に収集するかどうか、および収集にかかる時間は予測できません。ホストが UIM アドインに確実に表示されるようにするには、以下の手順に従って、そのホストを手動で追加します。

手順

1. 「SCVMM Admin (SCVMM 管理)」ページで、SCVMM ホスト・リストから手動でホストを削除します。
 - a. ホストをホスト・リストから選択します。
 - b. 「**Host** (ホスト)」をクリックし、「**Start Maintenance Mode** (保守モードの開始)」を選択します。
 - c. ホストがクラスターにあるかどうかに応じて、以下のいずれかの手順を実行します。
 - ホストがクラスターにない場合は、「**Host** (ホスト)」メニューから「**Remove** (削除)」を選択します。
 - ホストがクラスターにある場合は、「**Host** (ホスト)」メニューから「**Remove Cluster Node** (クラスター・ノードの削除)」を選択します。

この手順が正常に動作しない場合は、以下の PowerShell コマンドを実行します。

- a. `import-module virtualmachinemanager $RunAsAccount = Get-SCRunAsAccount -Name "RunAsAccount01" Get-SCVMHost -ComputerName "VMHost01"`
 - b. `remove-SCVMHost -Credential $RunAsAccount`
2. 管理 UI で、SCVMM またはクラスターに手動でホストを追加します。Lenovo XClarity Integrator アドインのリストで「Hypervisor (ハイパーバイザー)」ノードを選択し、Ctrl+F5 キーを押してリストを再ロードします。

3. ホストがアドイン・ホスト・リストに表示されない場合は、ホストを再起動してから、前の手順をもう一度実行します。

インストーラーが失敗しエラー・メッセージが表示される

まれに、Lenovo XClarity Integrator アドインのインストーラーが失敗し、エラー・メッセージが表示されることがあります。このエラーは、特にシステム上で初めてインストーラーを実行したときに発生する可能性があります。

手順

1. メッセージ・ウィンドウを閉じて、インストールを停止します。
2. インストーラーを再実行します。

タスクの結果

- 2 回目の実行では、インストーラーが正常に動作し、Lenovo XClarity Integrator アドインがインストールされます。

ライセンス交付

The Lenovo XClarity Integrator Add-in for Microsoft System Center, v2.0 is a proprietary product, released under the Lenovo International License Agreement for Evaluation of Programs (ILAE) or the Lenovo International Program License Agreement (IPLA).

ILAE では、ほぼすべての機能について、90 日間の試用が可能です。ライセンスが適用されていない場合は、すべての機能が無効になります。Lenovo XClarity Integrator アドインは、デフォルトで 90 日の試用ライセンスがついています。90 日後、試用ライセンスの有効期限が切れると、すべてのプレミアム機能が無効になります。Lenovo XClarity Integrator アドイン License Tool をインストールして製品ライセンスをアクティブにすることをお勧めします。

アクティベーション・ライセンスの購入については、Lenovo 担当員または Lenovo ビジネス・パートナーにお問い合わせください。Lenovo XClarity Integrator アドイン製品ライセンスを購入したら、Lenovo XClarity Integrator アドインを実行している管理ノードでライセンスをアクティブにする必要があります。管理対象ホストごとにライセンスをアクティブにする必要はありません。プレミアム機能のアクティブ化について詳しくは、Lenovo XClarity Integrator Add-in for Microsoft System Center, v2.0 License Tool のインストーラー・ガイドを参照してください。

試用バージョンがインストールされている場合、Lenovo XClarity Integrator Add-in for Microsoft System Center, v2.0 がアクティブになった後、すべてのユーザー・データとタスクが保持されます。ライセンスのステータスを確認するには、Lenovo Lenovo XClarity Integrator アドイン UI の左下隅にある「**License Information (ライセンス情報)**」ボタンをクリックします。

特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 Lenovo の営業担当員にお尋ねください。

本書で Lenovo 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その Lenovo 製品、プログラム、または サービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、Lenovo の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の 製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、他の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Lenovo は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

*Lenovo (United States), Inc.
1009 Think Place - Building One
Morrisville, NC 27560
U.S.A.
Attention: Lenovo Director of Licensing*

LENOVO は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が 禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。Lenovo は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、 改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、Lenovo 製品仕様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書の内容は、Lenovo またはサード・パーティーの知的所有権のもとで明示または黙示のライセンスまたは損害補償として機能するものではありません。本書に記載されている情報はすべて特定の環境で得られたものであり、例として提示されるものです。他の稼働環境では、結果が異なる場合があります。

Lenovo は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、 自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において Lenovo 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この Lenovo 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

商標

Lenovo、Lenovo ロゴ、Flex System、System x、および NeXtScale® System は、Lenovo の米国およびその他の国における商標です。

インテル、および Intel Xeon は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Internet Explorer、Microsoft、および Windows は、Microsoft グループの商標です。

Linux は、は、Linus Torvalds 氏の登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

重要事項

プロセッサの速度とは、マイクロプロセッサの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1,024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハード・ディスクの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なります。

Lenovo は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、Lenovo ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があります。ユーザー・マニュアル またはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

UXSPi vii

W

Web リソース xiii

【カ行】

拡張機能 1

規則および用語 vii

【サ行】

事項、重要 40

重要事項 40

商標 40

情報リソース ix

【タ行】

特記事項 37, 39

【ハ行】

ホスト情報

設定 12

表示 12

本書について vii

A

Adobe Acrobat Reader xi

P

PDF ファイル xi

PDF ファイルの保存 xi

S

SCVMM アドイン 1

Systems テクニカル・サポート・サイト
xiii

U

UIM 1

UpdateXpress System Pack vii

Upward Integration Modules (UIM) 1

lenovo®

Printed in Japan